

## 「平成25（2013）年川崎市10大ニュース候補一覧」

### 1月(January)

#### 1 『川崎市・実験動物中央研究所・国立医薬品食品衛生研究所が連携協力協定』を締結

川崎市・実験動物中央研究所・国立医薬品食品衛生研究所の3者の間で、相互が有する機能、能力、設備等を生かした連携・協力を進める協定を締結しました。この協定を活かし、革新的な医薬品・医療機器の開発・製造等のライフサイエンス分野の取組を推進します。

### 2月(February)

#### 2 『川崎国際環境技術展2013』を開催、過去最多の15,200人が来場

2月1日・2日に市内企業等の優れた環境技術を世界に情報発信し、国際的なビジネスマッチングの場を提供する「川崎国際環境技術展2013」を開催しました。5回目となる今回は、市内企業を中心に145団体が242ブースを出展。2日間で約15,200人の過去最多の来場者がありました。企業が小中学生に環境技術について教える出前授業や、リサイクル工場やエコ発電所など生産現場を見てまわるエクスカージョンなど、市民も多く参加しました。

#### 3 『毎日映画コンクール』表彰式開催、夏八木勲さん男優主演賞、田畑智子さん女優主演賞

2月7日に、「第67回毎日映画コンクール」の表彰式が「チネチッタ」で行われました。「希望の国」で男優主演賞の故 夏八木勲さん、「ふがない僕は空を見た」で女優主演賞の田畑智子さん、他にも周防正行監督などの受賞者が、オープニングセレモニーでチネチッタ通りを歩きました。

### 3月(March)

#### 4 キング スカイフロントまちびらき、『川崎生命科学・環境研究センター LiSE (ライズ)』オープン

ライフサイエンス・環境分野の国際戦略拠点形成が進む「キング スカイフロント」(川崎区殿町)において、道路など基盤整備がおおむね完了し、さらに、同エリアで共同研究を促進させる機能を担う「川崎生命科学・環境研究センター LiSE (ライズ)」が運営を開始し、キング スカイフロントが正式に「まち」としてスタートしました。これを記念し、まちびらき記念式とサイエンスフェスティバルが開催されました。

### 4月(April)

#### 5 子どもの安全と健やかな成長が守られる社会の形成を目指した『子どもを虐待から守る条例』を施行

昨年10月に議員提案により制定された「川崎市子どもを虐待から守る条例」を4月1日に施行しました。この条例は、市、市民、保護者及び関係機関の責務などを定め、子どもを虐待から守るための施策の推進と、子どもの安全と健やかな成長が守られる社会の形成を目指したものです。

#### 6 中原区に小児の急な病気に対応する『中部小児急病センター』が開設

中原区の日本医科大学武蔵小杉病院に、小児の急な病気に対応する「中部小児急病センター」が開設されました。市内では、市立川崎病院の「南部小児急病センター」、多摩区役所内の「北部小児急病センター」に続いて、3か所目の小児急病センターとなり、市内中部地区における小児救急医療体制を強化しました。

#### 7 震災の影響でつり天井が脱落した『ミュージア川崎シンフォニーホール』が待望のリニューアルオープン

「音楽のまち・かわさき」を象徴するミュージア川崎シンフォニーホールが、東日本大震災の影響により脱落したつり天井などの修復を終え、リニューアルオープンしました。リニューアル記念式典には約1800人が参加し、約2年ぶりの「ミュージア」を堪能しました。

## **8 武蔵小杉駅直結の再開発ビルに『市立中原図書館』や商業施設がオープン**

武蔵小杉駅直結の再開発ビルに、自動貸出機や自動予約棚など国内最高レベルの設備を備え、平日の開館時間が午後9時までと利便性の高い「市立中原図書館」と、商業施設（総菜店、菓子店、飲食店など98店舗が入居）がオープンしました。両施設とも数多くの方々が利用しており、大変好評を博しています。

## **9 交通政策の戦略的な実施を目的に『川崎市総合都市交通計画』を策定**

今後20年間を見据え、鉄道や道路など様々な交通課題に対応した交通政策を戦略的に実施するため、川崎市総合都市交通計画を策定しました。計画では、羽田空港への連絡道路を10年以内に事業完了するなど、各施策・事業に概ねの取組時期を定めており、計画的な施策・事業展開を図ります。

## **10 羽田空港に近い立地を生かし、『川崎市・大田区が産業分野の連携協定』を締結**

川崎市は東京都大田区と産業連携に関する基本協定を締結しました。この協定では、川崎市側の「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」と大田区側の「アジアヘッドクォーター特区」の連携も含まれており、国際戦略総合特区同士の連携で自治体が基本協定を締結するのは全国で初めてです。

## **11 身体・知的・精神障害者の重度障害者を主な対象とした障害者支援施設『桜の風』が中原区にオープン**

身体・知的・精神の重度障害者を主な対象とした3障害統合の入所施設『桜の風』が中原区にオープンしました。この施設は、短期入所機能を強化するなど、重い障害のある方も地域で生活できるような支援を提供する施設となっています。

# 5月(May)

## **12 『アルテリッカしんゆり』開催5周年、約25,700人が来場**

麻生・多摩・宮前区で「川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)2013」が開催され、全日程で約25,700人が来場しました。藤原歌劇団によるオペラ「カルメン」、スターダンサーズ・バレエ団の「シンデレラ」、人間国宝である友枝昭世さん、山本東次郎さんによる能・狂言など魅力的な演目が上演されました。

## **13 日本に届く国際郵便物の約9割を扱う『川崎東郵便局』が開局**

日本に届く国際郵便物の約9割を扱う「川崎東郵便局」が川崎区東扇島に開局しました。首都高速、川崎港、羽田空港の「陸・海・空」へのアクセスの良さを生かし、国際郵便を扱う首都圏の新たな拠点として重要な機能を担っています。

## **14 前年に比べ、177人減少するも『待機児童数438人』**

4月1日現在の市内認可保育所の待機児童数が前年比177人減の438人となりました。保育所は前年に比べ、18か所増加しましたが、入所希望者も増えたため、2年連続で県内最多となりました。

## **15 JR川崎駅がさらに利用しやすくなる『北口自由通路』の工事に着手**

JR川崎駅へのアクセス性の向上と東西自由通路の混雑緩和、駅東西の利便性・回遊性等の向上を図るため、川崎市とJR東日本では、北口自由通路と新たな改札口の整備に向けた工事に着手しました。工事完了は2017年度となる見込みです。

## 6月(June)

### 16 市外での温室効果ガス削減の貢献量を認証する『川崎メカニズム認証制度』がスタート

川崎の特徴・強みである優れた環境技術を活かした地球規模での温室効果ガスの排出削減を推進するため、市内企業の環境技術が市域外で温室効果ガスの削減に貢献している量を「見える化」し、企業が市場で適切に評価される仕組みである「川崎メカニズム認証制度」をスタートしました。

### 17 ヘヴィメタルでまちおこし、『MIYAMAE METAL CONNECTION2013』開催

ヘヴィメタルでまちおこしを進める川崎市宮前区の宮前重金属発掘計画プロジェクトチームが、バンドバトルやダンスバトルイベントの「MIYAMAE METAL CONNECTION2013」を開催しました。宮前重金属発掘計画は区誕生30周年がきっかけとなり昨年スタートし、今年度は市のイメージアップ認定事業として取組を進めています。

## 7月(July)

### 18 日本オリンピック委員会認定の『川崎マリエンビーチバレーコート』を4面化してリニューアル

川崎区東扇島にある「川崎マリエンビーチバレーコート」のリニューアル工事が完了し、コート面数が2面から4面に倍増しました。これにより、合同合宿や大会運営がしやすくなるなど、「JOC認定バレーボール競技強化センター」に認定されている当施設がますます充実します。

### 19 身体障害者や高齢者等だれもが快適に乗車できる『UDタクシー』に対応した乗場を川崎駅前を整備

川崎市は、JR川崎駅前に車いすでの乗り降りが可能で、身体障害者や高齢者等だれもが快適に乗車できる「UD（ユニバーサルデザイン）タクシー」に対応する全国初のタクシー乗り場を整備しました。神奈川県タクシー協会川崎支部と連携協定を締結するなど、川崎市はUDタクシーの普及率を平成29年度までに10%に引き上げ、UDタクシーが高齢社会における「地域の足」となることを目指し、取組を進めています。

### 20 川崎と名古屋・大阪などの各都市を結ぶ『高速路線バス発着場』が川崎駅にオープン

川崎市は、JR川崎駅東口「ラ チッタデッラ」前に、川崎と名古屋・大阪・金沢・盛岡などの各都市を結ぶ高速路線バスの発着場を整備しました。安全で、わかりやすい高速路線バスの運行により、8月には乗降客数が1万人を超えるなど、市民の利便性向上と観光客増加の取組を進めています。

## 8月(August)

### 21 水素社会の実現を目指す『川崎臨海部水素ネットワーク協議会』を設立

川崎市は、有識者、立地企業等で構成する「川崎臨海部水素ネットワーク協議会」を設立しました。川崎臨海部の水素ネットワークの構築に向けた取組を推進することにより、川崎臨海部地域の競争力強化を図るとともに、グリーン水素との連携や、市民生活分野、交通分野等への展開を進めることにより、水素社会の実現を目指します。

### 22 川崎市立養護学校の星拓実さんの油絵が学生美術の祭典、「学展」で『準グランプリ』受賞

川崎市立養護学校高等部2年の星拓実さんが「絵の甲子園」とも称される学生美術の祭典「学展」で準グランプリの「特別奨励賞」を受賞しました。縦130センチ、横100センチの大きなキャンバスに猫3匹をユーモラスに描いた「猫百景」を出展し、養護学校生徒として初めて同賞を受賞しました。

## **23 友好都市のザルツブルク市へ『川崎市訪問団派遣』、11月には川崎駅に『ザルツブルクの鐘』を設置**

ミュージアム川崎シンフォニーホール休館中、友好都市であるザルツブルク市及びザルツブルク音楽祭から寄せられた寄付への御礼と人材交流などのため、市長を団長に市内音楽大学生等からなる訪問団を同市に派遣し、大谷康子川崎市市民文化大使も同行しました。また、10月には、同市で上演されたオペラのパブリックビューイングを市内3会場で上映し、11月にはJR川崎駅に同市などの支援を後世に残すために「ザルツブルクの鐘」を設置するなど、交流を深めています。

## **24 『藤子・F・不二雄ミュージアム』の入館者数が100万人を突破**

川崎市多摩区にある「川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム」の入館者数が100万人を突破し、オープンからおよそ2年での大台到達となりました。同ミュージアムは、「ドラえもん」などの名作漫画を生み出した藤子・F・不二雄さんの世界を楽しめる施設で、1日4回、各回500人の予約制となっています。

## **25 『川崎市制記念多摩川花火大会』に約28万人が訪れる**

夏の風物詩である「川崎市制記念多摩川花火大会」が高津区河川敷で開催され、約6,000発の花火が打ち上げられ、約28万人の観客が花火を見物しました。今年は、川崎市長選挙の投票啓発用の仕掛け花火も披露されました。

# 9月(September)

## **26 資源循環型社会の構築に向けて『家庭ごみの収集方法を変更』**

資源循環型社会の構築に向けて、ごみの減量化・資源化の促進や環境負荷の低減を図るため、プラスチック製容器包装の分別収集を全市に拡大するとともに、普通ごみの収集回数を週3回から週2回に変更しました。この変更により、年間焼却ごみ量を37万トンに削減し、今後、焼却場の稼働を一つ減らすことで、年間3万6千トンのCO<sub>2</sub>排出削減など大きな効果につながる見込みです。

# 10月(October)

## **27 「川崎宿」の歴史や文化を学ぶ『東海道かわさき宿交流館』オープン、11月には来館者数1万人突破**

川崎区本町に、江戸時代に東海道の宿場として栄えた「川崎宿」の歴史や文化を学ぶ施設である「東海道かわさき宿交流館」が10月1日にオープンし、11月には来館者数が1万人を突破しました。同館では、映像や模型などさまざまな手法を駆使して江戸時代の川崎宿の様子や、江戸時代から現代につながる川崎の歴史・文化を紹介しています。

## **28 川崎駅周辺の自転車対策として『自転車通行環境や時間利用駐輪場』を整備**

自転車同士や自転車と歩行者の接触事故の防止等を目的として市役所通り及び県道川崎府中JRガード下周辺に自転車通行帯や一方通行の自転車道を整備しました。また、駅周辺の駐輪スペースを確保するために、時間利用駐輪場も併せて整備しました。

## **29 『川崎認定保育園保育料補助金』を開始、10月から月額5,000円を支給**

10月から「川崎認定保育園」に通い、一定の条件を満たす児童の保護者に対して、保育料を補助する「川崎認定保育園保育料補助制度」が始まりました。補助額は月額5,000円で、今年度創設された「川崎認定保育園」の利用促進を図ります。

## **30 『川崎国際生田緑地ゴルフ場』に新しいクラブハウスがオープン**

川崎国際生田緑地ゴルフ場に新しいクラブハウスがオープンしました。このクラブハウスには、ゴルフ場利用者だけでなく、生田緑地を散策された市民の皆様も利用できるレストランや地域住民向けの災害用備蓄倉庫が設置されており、地域に根差した施設となっています。

### **31 『川崎フロンターレ』がヤマザキビスコカップでベスト4**

Jリーグのヤマザキビスコカップで4年ぶりの決勝進出を目指した「川崎フロンターレ」は惜しくもベスト4で敗退しました。準決勝第1戦は勝利したものの、第2戦で敗れ、アウェイゴール数により、決勝進出を逃しました。

### **32 福祉・介護産業の振興を目指した『ウェルフェアイノベーションフォーラム』を設立**

企業の優れた技術力等を活用し、利用者ニーズに応えた福祉製品やサービスを創出し、国内外の高齢化に伴う課題解決や福祉・介護産業の振興を目指す「ウェルフェアイノベーション」を推進する場として、福祉と産業のマッチングを図るフォーラムを設立しました。設立式には、市内外の企業や福祉事業者、医療関係機関など約180社・団体などが参加しました。

### **33 国内最大級のパレード『カワサキハロウィン』に約11万人の観客**

17回目となる「カワサキハロウィン」が開催され、10月27日にはメインイベントである国内最大級の仮装パレードが行われました。今年は、川崎駅前の大通りのパレードに約3,000人が参加、約11万人の観客が訪れました。

### **34 東芝の『スマートコミュニティセンター』が開所、川崎駅周辺では実証実験をスタート**

株式会社東芝はJR川崎駅西口に環境に配慮した最先端の技術を取り入れ、快適性と省エネルギーを両立させた「スマートコミュニティセンター」を開所しました。同センターは、スマートコミュニティ事業の中核拠点として約7,800人が就業し、地域のエネルギー利用の合理化を目指す実証事業やICTを活用した地域経済の活性化などの取組を展開します。また、来年2月には、センター内に地域社会への貢献等をめざす「東芝未来科学館」が開所予定です。

## **11月(November)**

### **35 『川崎市文化賞』などに、東京交響楽団ら2団体と6名を表彰**

川崎市文化賞の表彰式を国際交流センターで行い、文化賞に公益財団法人東京交響楽団、社会功労賞に高橋章さん、都倉正明さん、飯田和子さん、スポーツ賞に井端弘和さん、柿生青少年柔道会、アゼリア輝賞に内田けんじさん、昆夏美さんを表彰しました。

### **36 『福田新川崎市長』が誕生**

3期12年にわたって川崎市長を務めた阿部市長の任期満了に伴う市長選挙が行われ、福田紀彦新市長が誕生しました。今後、4年間にわたり、福田新市長が約145万人の川崎市民の代表として、市政運営を担います。

### **37 『奇跡の一週間』、ミューザ川崎シンフォニーホールで世界3大オーケストラが相次いで公演**

川崎市幸区のミューザ川崎シンフォニーホールでウィーン・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ、ベルリン・フィルの世界3大オーケストラが11月16日～20日の間で次々と公演を行いました。音楽ファンには「奇跡の一週間」と呼ばれ、大変好評を博しました。

### **38 『川崎市市民ミュージアム』開館25周年、記念の特別展やフェスティバルなどを開催**

川崎市市民ミュージアムは、博物館と美術館の複合文化施設として1988年11月に開館し、今年で開館25周年を迎えました。これを記念して、7月から12月にかけて「新世代アーティスト展 in Kawasaki セカイがハンテンし、テイク」など3つの特別展を開催するとともに、11月には「食とアートと音楽と」と題したフェスティバルを開催するなど、さまざまな取組を行いました。

### **39 『(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター』着工、来年度以降運営開始**

キングスカイフロントに整備を進めている「(仮称)ものづくりナノ医療イノベーションセンター」が着工しました。本センターには、ナノ医療の実用化に向けて複数の大学、複数の企業が入居し、産学官の連携の下、ナノ医療技術の開発などの研究を進めていく予定です。なお、来年度以降の運営開始を予定しています。

### **40 『モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき2013』を開催**

世界三大ジャズフェスティバルの一つである「モントルー・ジャズ・フェスティバル」の日本公演を11月22日から30日の間で開催しました。3回目となる今年は東日本大震災での被災から復旧したミュゼ川崎シンフォニーホールを初の会場に据え、5ヶ所11公演が行われました。同時に国内外の一流アーティストによるワークショップやジャズアカデミーなども開催しました。

### **41 『2013川崎国際多摩川マラソン』が開催、応募殺到で2日間で締切に**

「2013川崎国際多摩川マラソン」が等々力陸上競技場及び多摩川河川敷マラソンコースで開催され、5,689人が参加しました。今年から、市民の皆さんの参加の機会を増やすため「市民枠先行募集」を導入しました。一般募集でも、全種目において大会が始まって以来最短の2日で定員に達し、応募が締め切られるという人気の大会となりました。

## **12月(December)**

### **42 『川崎市子ども夢パーク』開所10周年**

自由な発想で、遊び、学び、つくり続ける子どもの居場所という基本理念をもとに運営している「川崎市子ども夢パーク」が今年開所10周年を迎えました。年間約8万5千人が訪れる人気スポットで12月には10周年記念フェスタも開催されます。

### **43 とどろきアリーナで『川崎市長杯争奪2013国際トランポリンジャパンオープン』と全国大会を開催**

11月29日から12月1日にかけてトランポリン競技の全国大会である「第50回全日本トランポリン競技選手権大会」がとどろきアリーナで開催されます。また、12月21日から22日にかけて、海外の有力選手も出場する「川崎市長杯争奪2013国際トランポリンジャパンオープン」が、同アリーナで開催されます。

### **44 失業等により生活にお困りの方の支援を行う『川崎市生活自立・仕事相談センター』を開設**

失業等により生活に困っている方の支援を行う「川崎市生活自立・仕事相談センター（愛称：だいJOBセンター）がJR川崎駅東口にある川崎フロンティアビルに開設します。だいJOBセンターでは、失業とともに、うつなどのメンタルの問題、家賃滞納などのすまいの問題、借金などの家計や法律の問題を抱える方の相談を受け、専門の相談員がその方の自立を支援します。